

第34回 性の問題を考える会

※当初の予定から変更しております。

<主催者より>教師の生徒へのわいせつ事件のニュースが後を絶ちませんが、『スクールセクハラ』を読んで、子どもに関わる職業に就く誰もが陥る可能性のある問題のような気がして鳥肌が立ちました。今回は、著者である池谷孝司さんをお招きして講演会を開催することにしました。また、午前の部には、名古屋市の児童養護施設愛松学園の園長である浅野伸治さん、そして名古屋市中心児童相談所一時保護所なかよし委員会委員長の渡邊佐知子さんに、子どもたちの安心・安全を守るためにこれまで実施されてきたことについてお話しをしていただきます。そして午後の部は、池谷さんの他、加害者への治療プログラムを実施されているあつた白鳥クリニック心理士の中島圭太さんにお話をさせていただきます。子どもにかかわる仕事に就かれている皆さんと、子どもたちを守るために「私たちに何ができるか」を話し合う機会になればと思っています。

日時 2026年2月15日(日)

※午前の部(10時-12時)、午後の部(13時-15時30分)の2部制です。両方のご参加も可能です。

会場 愛知県社会福祉会館2階 ボランティア室 〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地

対象 社会福祉施設職員、教師、その他子どもにかかわる職業の方

定員 各部60名

参加費 無料

申込方法 下記のGoogleフォームからお申し込みください(2026年2月8日まで。先着順です)

<https://forms.gle/OYpZzUp2aNXjrmr26>



午前の部(10~12時)

①「愛松学園での取り組み：子どもたちの安心安全なくらしのために」

講演者：浅野伸治氏(愛松学園 園長)

②「一時保護所における安全・安心を保障する取り組み」

講演者：渡邊佐知子氏(名古屋市中心児童相談所一時保護所なかよし委員会委員長)

午後の部(13~15時)

①「スクールセクハラを防ぐには一取材現場から考える」

講演者：池谷孝司氏

1965年奈良県生まれ。千葉大学卒。1988年共同通信社に入社。社会部次長、宮崎支局長などを経て編集委員。教育や若者関係、少年事件などの取材を続けてきた。著書に「死刑でいいです—孤立が生んだ二つの殺人」(新潮文庫)、「子どもの貧困連鎖」(新潮文庫)、「スクールセクハラ—なぜ教師のわいせつ犯罪は繰り返されるのか」(幻冬舎文庫)がある。新聞連載「反省が分からない—大阪・姉妹刺殺事件」で新聞労連の「足田桂一郎賞」、「貧困連鎖からの脱出—伴走型支援の挑戦」で反貧困ネットワークの「貧困ジャーナリズム賞」を受賞。

②「性加害行動の理解 — 社会適応している大人の加害を理解する —」

講演者：中島圭太氏(あつた白鳥クリニック 公認心理師/臨床心理士)